

平成31年度学校経営計画

新見市立新見第一中学校

◎本校のミッション（使命・存在意義）

- ◇子どもに対して・・・様々な体験を通じて、豊かな心と健やかな体を養い、確かな学力と社会の変化に対応できる力を身に付けた生徒の育成に努める。
- ◇教職員に対して・・・学校経営に対する参画意識を高く持ち、チーム力が向上する集団を目指す。また、研修を深め、学習指導や生徒指導を充実させることに力を注ぐ。
- ◇保護者に対して・・・日ごろから教職員との連携を密にし、教育活動や教育課題を伝えることで、お互いの信頼関係を築き、共通の目標に立って生徒の教育に努める。
- ◇地域に対して・・・開かれた学校づくりや情報発信により、学校教育に対する理解を得ながら、地域のリソースを有効に活用する。

◎内外の環境分析（強み・弱み）

◆	内 部 環 境	生 徒 ・素直で明るく、ほとんどの生徒が学校は楽しいと感じている。 ・概ね、基礎的・基本的な学力が身に付いている。 ・生徒会を中心に、主体的に活動しようとする気運がある。 ・思いや考えを伝え合い、自分の言葉で表現する生徒が増えた。 ・複数集団のよさを生かした活動が定着している。 ・運動や部活動に親しむ習慣が身に付いており、体力・運動能力が高い。 保 護 者 ・教育熱心で、学校行事への参加率は高い。 ・学校教育に対して協力的であり、PTA活動に主体的に取り組み、活性化を進めていく気運がある。 教 職 員 ・教師集団は熱心でまとまりがよく、協働する教職員になっている。 ・常に自己研鑽に励む意欲と実践力を有している。 ・新学習指導要領の実施に向けて、研究に取り組む意欲がある。 ・ICT機器を有効に活用する教師が多く、先行的教育を推進していく能力を有している。 施 設 ・教育行政は施設整備に協力的である。	・家庭学習の習慣や学習時間に課題がある。 ・人権感覚に乏しい言動がある。 ・多くの生徒がSNSを利用している実態があり、トラブルもある。 ・体験活動の不足により、社会性や豊かな情操が育ちにくい環境がある。 ・不登校及び別室登校の生徒が増加傾向にある。 ・将来に対する明確なビジョンが持てない生徒がいる。 ・子育てに不安を抱えている家庭が増えている。 ・情報モラルに関して教育力が欠けている家庭が増えた。 ・経験を生かしつつ柔軟に発想し、実態に応じた改善に努める。 ・OJTやOFF-JTを通した若手人材やネクストリーダーの育成が急務である。 ・開かれた学校づくりを推進していくとともに、関係機関との連携を強めることが求められる。 ・特別支援教育に関わる研修を深めていく必要がある。 ・中長期的視野に立ち、節約に努めるなど、諸経費を適正に執行する。 ・突然の非常変災に対応する安全対策として、生きて働く危機管理マニュアルの整備が必要である。
	外 部 環 境	・豊かな自然環境と保幼小中高大特の教育環境や諸文化・施設に恵まれ、地域の協力が得られやすい。 ・地域の中心部に位置し、伝統ある学校という思いが強く、常に注目を浴びる存在である。 ・学校運営協議会等を通して、地域で子どもを育てようとする雰囲気ができつつある。 ・少子化に伴う高校再編の問題に対し、地域の関心が高まっている。	・学区に8小学校がある。 ・新見市の人口減少とともに、生徒数が減少している。 ・統合に伴うバス通学生徒が2割を占めており、緊密な連携が求められる。 ・自転車通学の生徒が多く、安全意識の高揚に関して課題がある。 ・地域ボランティアの高齢化が進んでおり、支援分野に偏りがある。 ・働き方改革に対して保護者や地域の理解を求めている。

◎ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像・目指す姿）

- 1 学校教育目標
『はつらつと心豊かにたくましく生きる力の育成』
- 2 校訓
『自律・協力』
- 3 目指す学校像
○生徒にとって「個性や能力が伸ばせる」学校
○職員にとって「生徒とともに成長できる」学校
○保護者・地域にとって「信頼される」学校
- 4 目指す生徒像
○進んで学習し、深く考える生徒
○思いやりを持ち、共に生きようとする生徒
○心身を鍛え、何事も最後までやり抜く生徒
- 5 目指す教師像
○子どもと向き合い、教育に情熱を持つ教師
○日々研鑽に努め、指導力の向上に努める教師
○家庭・地域と連携し、きめ細かく温かい教育をする教師
○学校経営に主体的に参画し、仲間と協働する教師

◎取組の重点

- 1 学びの在り方と学力の向上
 - (1) 教師の授業力の向上
研修により得た成果を基に、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を継続して行ない、質の高い授業を目指す。
 - (2) 新しい時代に求められる資質・能力の育成
 - ① 教科や総合的な学習の時間で、協働学習を積極的に取り入れ、ICT機器や思考ツールを活用しながら、生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成する。
 - ② 超スマート社会(Society5.0)の到来に向け、プログラミング教育が目指す能力を「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、論理的思考力を育成する。
 - (3) 家庭学習の充実
「一中型家庭学習のスタンダード」に従い、生徒にとって肯定感が得られる取組を実践する。
- 2 道徳教育
 - (1) 特別な教科である道徳の授業実践
検定教科書の導入により計画した内容構成や評価について見直すとともに、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた授業研究を充実させる。
 - (2) 人権意識の高揚
クライシスを高め、いじめのない集団づくりに努めるとともに、学校内外のボランティア活動に積極的に取り組ませることを通して、自己の主体的な意思による行動を促す。
- 3 キャリア教育
 - (1) 社会の変化に対応できる力の育成
系統立てた体験学習や自己啓発の学習を充実させ、情報化やグローバル化といった社会的変化に対応し、自信を持って自分の人生を切り開いていこうとする力を育成する。
 - (2) 年間指導計画の検証
作成した年間指導計画の見直しを行うとともに、取組を具現化していく。
 - (3) コミュニケーション能力の育成
対話や議論を通じて、自分の考えを根拠をもとに伝えるとともに、他者の考えを理解し、自分の考えを発展させたり思いやりを持って多様な人々と協働したりできる力を育成する。
- 4 特別支援教育

- (1) 支援体制の整備
インクルーシブ教育の視点に立ち、特別支援教育コーディネーターを中心とした、学校全体での指導体制を強化する。
- (2) 教員の専門性の向上
特別支援学校教諭免許状の保有率を上げ、指導内容の充実を図るとともに、「連続性のある多様な学びの場」を確保する。
- (3) 連携
支援センター設立に向け、切れ目のない支援の引継と関係機関との連携を強化する。
- (4) 個別の指導計画の見直し
通常学級における個別の指導計画を作成し、生徒が辛い思いをすることがないように、個に応じた支援体制を充実させる。

5 生徒指導

- (1) 自己指導能力の獲得
生徒と教師、生徒同士の相互理解を根底にすえ、生徒の自己肯定感・自己有用感や自己受容感が得られるような体験的場面を意図的に設定する。
- (2) 関係機関との連携
不登校等の問題行動に対して、情報連携を密にするとともに、関係機関との無支援ゼロを目指した行動連携に努める。また、情報モラルに関わる啓発研修を各分野で計画し、保護者や地域の協力を得る。

6 開かれた学校づくり

- (1) 社会に開かれた教育課程
「新見型学校運営協議会」を通して、学校評価の公表に努め、説明責任を果たすとともに、学校と地域住民・保護者を代表する委員の承認を得ながら社会に開かれた教育課程を編成する。
- (2) 地域資源の活用
学校支援ボランティアや保幼小中高大特との連携を通して、地域資源を生かした、創意工夫の見られる学校づくりを進める。

7 学校力向上

- (1) 組織的学校運営
教頭・主幹教諭を要とした学校運営に心がけ、校内チームコーディネーター・主事・主任を核として機動的に動ける教師集団づくりを目指す。
- (2) 協働体制の確立
各分掌の業務の見直しや分掌間の連携を強化するとともに、定期的な校内委員会を通して、情報を共有する。
- (3) 学校事務の効率化
事務の共同実施による学校間連携も含めて、学校事務の効率化と簡略化を図る。
- (4) 危機管理意識の高揚と情報管理の徹底
熱中症をはじめとする気象条件への対応、突発的な事故に対する措置や連絡において危機管理意識を高めるとともに、校内セキュリティー・ポリシーに従い、情報セキュリティーを確保し、ICT環境の安全性と信頼性を高める。
- (5) 服務・労務管理
コンプライアンス研修を定期的に行い、服務事故の防止に努めるとともに、定時退庁日の徹底や「部活動の在り方に係る基本方針」の遵守など、働き方改革を推進する。
- (6) 人材育成
「一中アドベンチャープログラム」等の職能研修を通して、若手やミドルリーダーの養成を図るとともに、チーム力の向上を目指す。

8 その他

精選すべき教育活動は精選し、先行実施すべき教育活動は焦点化して実施するなど、不易と流行を見極めた取組とする。

平成31年度 中学校特別支援学級教育課程編成表

学校名			新見市立新見第一中学校			校長名		小藤 一成 印			
障害の種類			知的障害			学級名		あけぼの学級			
学校 教育 目標	はつらつと心豊かに たくましく生きる力の育成					指導 方針	○活力ある生活をするための資質や習慣を身につける。 ○生きるために必要な知識や技能を身につける。 ○よりよく生きようとする意欲や態度を身につける。				
区分			授業時数の配当								
			1		2		3				
各 教 科	必 須 教 科	国 語		141		141		140			
		社 会		106		106		106			
		数 学		106		106		140			
		理 科		106		106		106			
		音 楽		46		36		35			
		美 術		46		36		35			
		保健体育		110		108		105			
		技術・家庭		71		71		35			
		外 国 語		71		73		73			
		*（職業・家庭）									
	選 択 教 科	国 語									
		社 会									
		数 学									
		理 科									
		音 楽									
		美 術									
		保健体育									
		技術・家庭									
		外 国 語									
		その他（ ）									
小 計			803 (76.3%)		783 (74.3%)		775 (75.9%)				
特別の教科である道徳			36 (3.4%)		36 (3.4%)		35 (3.4%)				
総合的な学習の時間 <>内は特活に代替した時間数<内数>			60 < (5.7%) >		80 <6> (7.6%)		70 <13> (6.9%)				
特別活動			46 (4.4%)		46 (4.4%)		35 (3.4%)				
*（自立活動）			107 (10.2%)		109 (10.3%)		105 (10.3%)				
総授業時数			1052		1054		1020				
年間授業日数			201		202		196				
予 定 生 徒 数	学 年		1		2		3				
	男		1		1		2				
	女		0		0		0				
	計		1		1		2				
備 考			音楽、美術、保健体育、技術・家庭は交流学級で実施。								

平成31年度 中学校特別支援学級教育課程編成表

学校名			新見市立新見第一中学校			校長名		小藤 一成 印			
障害の種類			自閉症・情緒障害			学級名		ゆずりは学級			
学校 教育 目標	はつらつと心豊かに たくましく生きる力の育成					指導 方針	○人との関わりを円滑にし、よりよく生きようとする意欲や態度を身につける。 ○活力ある生活をするための資質や習慣を身につける。 ○生きるために必要な知識や技能を身につける。				
区分			授業時数の配当								
			1		2		3				
各 教 科	必須 教科	国 語		141		141		106			
		社 会		107		108		141			
		数 学		141		110		141			
		理 科		107		141		141			
		音 楽		46		36		35			
		美 術		46		36		35			
		保健体育		110		108		105			
		技術・家庭		71		71		35			
		外 国 語		106		106		106			
		*（職業・家庭）									
	選 択 教 科	国 語									
		社 会									
		数 学									
		理 科									
		音 楽									
		美 術									
		保健体育									
		技術・家庭									
		外 国 語									
		その他（ ）									
小 計			875 (83.2%)		857 (81.3%)		845 (82.8%)				
特別の教科である道徳			36 (3.4%)		36 (3.4%)		35 (3.4%)				
総合的な学習の時間 <>内は特活に代替した時間数<内数>			60 < > (5.7%)		80 < 6 > (7.6%)		70 < 13 > (6.9%)				
特別活動			46 (4.4%)		46 (4.4%)		35 (3.4%)				
*（自立活動）			35 (3.3%)		35 (3.3%)		35 (3.4%)				
総授業時数			1052		1054		1020				
年間授業日数			201		202		196				
予 定 生 徒 数	学 年		1		2		3				
	男		0		2		1				
	女		0		2		1				
	計		0		4		2				
備 考			音楽、美術、保健体育、技術・家庭は交流学級で実施。								

平成31年度 学校教育目標及び校内研究主題

新見市立新見第一中学校

<教育目標>

はつらつと心豊かにたくましく生きる力の育成

<研究主題>

主体的に学び合い、高め合う生徒の育成を目指して

<研究主任> 谷岡明日美

<研究計画の概要>

(1) 授業研修

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行う。生徒が主体的に学び、基礎的・基本的な知識や技能を着実に修得しながら学び合い、次の学習に生かそうとする態度の育成に向けて、効果的な指導方法を探る。

(研修方法)

研修チーム（教科横断型）を編成し、指導方法の研修を OJT 研修により行う。各チーム1名が公開授業を計画し、それに向けて協働で授業デザイン・指導案作成や授業の振り返りを行う。

(2) 特別支援教育に関する研修

通常の学級における特別支援教育の観点からの授業づくりや合理的配慮・個別の教育支援計画における研修を行う。岡山県総合教育センターの学校力向上サポートキャラバン事業を活用し、年間2回講師を迎え、講義・演習を行う。

(3) 「特別の教科 道徳」に関する研修

本年度から実施される「特別の教科 道徳」について、道徳教育推進教師を中心に、「考え、議論する」授業や評価について研修を行う。

(4) まとめと評価

研究実践の記録と評価をまとめ、次年度につなげる。

平成31年度 校内研修実施計画

1 授業研修チーム ◎総責任者 谷岡明日美

教科・領域	公開授業者	実施日	メンバー ○は責任者
特別支援	藤野 ③	10月	○藤井、杉本、上仲
技術科	白神 ④	10月	○小林、横見、教頭
社会科	有西 ②	10月	○堀江、安田、岡崎
保健体育科	前原 ②	10月	○西村、中山、羽柴
	久津間①	12月	
英語科	中務 ①	12月	○重村、三上、小松

注1 ①・・・初任教員 ②・・・2年目教員 ③・・・3年目教員 ④・・・4年目教員

注2 ○J T研修として位置付ける

注3 初任者は12月に新見市教育委員会の指導訪問を受ける

2 校内研修予定

実施日		テーマ 内容	研修形態・協力機関
第1回	6月	「通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくり」についての研修	全体研修 岡山県総合教育センター 学校力向上サポートキャラバン
第2回	6月	「特別の教科 道徳」に関する研修 ～「考え、議論する」道徳について～	全体研修 道徳教育推進教師
第3回	7月	公開授業に向けて ～授業デザインの検討～	授業研修
第4回	10月	公開授業 研究協議	公開授業研修
第5回	10月	学校における合理的配慮の提供の在り方、個別の教育支援計画の作成と活用についての研修	全体研修 岡山県総合教育センター 学校力向上サポートキャラバン
第6回	12月	初任者授業研修 保健体育科・英語科	初任者指導訪問 新見市教育委員会
第7回	2月	「特別の教科 道徳」に関する研修 ～評価について～	全体研修 道徳教育推進教師

平成 31 年度 学力向上プラン全体計画

新見市立新見第一中学校

【中期目標】「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指す。

【中期指標】「まなびノート」（自主学習）を中心とした家庭学習が、「思考力・判断力・表現力等」（「学びに向かう力・人間性等」）の育成につながるように、授業と関連させた課題を各教科担当で示し、生徒の実践を促す。

【短期目標】「知識・技能」の確実な定着のため、家庭学習に取り組むことができる生徒の育成を目指す。

【短期指標】平日家庭学習に 1 時間以上（1 年生 80 分、2 年生 90 分、3 年生 100 分）取り組む生徒を 70% 以上に増やす。

【家庭との連携】

・平日に家庭学習に取り組む生徒の 100% 達成に向けて、特に 1 年生の 4 月を強化月間とする。その際、学級通信や家庭訪問、家庭連絡を通して連絡を密にする。

【取組指標】

★学校の授業以外、平日に勉強に全く取組まない生徒の割合
→ 0 % (H30 1.6%)

【授業づくり】

- 「思考力・判断力・表現力等」を育成する授業づくりを行う。
- 「めあて」と「まとめ」につながりをもたせる。

【重点取組】「まなびノート」と授業の関連付け

- ・授業のまとめや予習など、授業と関連付けた「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の育成につながる学習課題を「まなびノート」で家庭学習させる。
- ・「まなびノート」で学習した内容から授業のめあてを設定を行うなど、家庭学習との関連付けを意識した授業づくりを行う。

【取組指標】

- ★「まなびノート」の学習内容についての全教員への周知の徹底
- ★授業における「めあて」と「まとめ」の提示の徹底

【教員の指導力の向上】

・授業研修において指導力の向上を図る

【重点取組】

・わかりやすく意欲を高める指導の工夫の実践。

【取組指標】

★学校評価において、生徒や保護者から、授業に関する肯定的評価の増加。

【学力基盤づくり】

- 「知識・技能」を育成するため、国語・数学・英語の課題を毎日出し、家庭学習の習慣を確立させる。
- 家庭学習の意識の向上に向けて、オリエンテーションや声掛け、クラスマッチ、ノートコンテスト等で家庭学習の啓発活動を行う。

【取組指標】

- ★国語・数学・英語の課題の提出率→90%
- ★一中型 家庭学習のスタンダードの周知徹底

《生徒の学力の課題及び要因の考察》

<学力の課題>・H30 年度全国学力調査において、国語では、書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する問題において課題がみられた。数学では主として資料の活用の領域や記述式において全国と正答率に差がみられ、生きて働く「知識・技能」の定着が求められる。

・H30 年度学習状況調査において、平日家庭学習に 1 時間以上取り組む生徒の割合が全国平均を下回っている。（本校 63.7%、全国 70.6%）

・学校評価においても保護者、教員において「家庭学習」の項目が低い。家庭学習の確立が課題である。

<要因>

・家庭学習の習慣が定着していない生徒が一定数いる。

・生徒の日々の頑張りを認め、意欲を高める家庭学習の充実を目指した取り組みの共通認識が必要である。

一中型 家庭学習のスタンダード

小・中学校・家庭が連携し、相互理解のもと
家庭学習時間の確保と充実を目指した取り組み

1年
80分

2年
90分

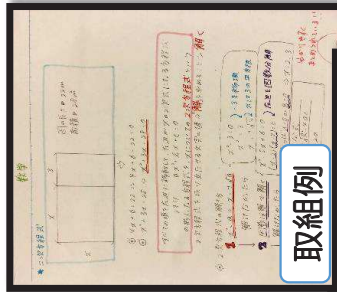
3年
100分

一 中 家 庭 学 習 時 間

自ら学ば力

まなびノートの取り組み (H28年度～)

- 毎日1ページ以上自主学習に取り組み、学習に向かう努力を評価する。教員からのフィードバックによる意欲の向上。



取組例

- 帰りの会で計画を立て、学習に取り組む。その日の振り返りをし、◎・○・△で自己評価する。

R-PDCAサイクルで家庭学習を自分自身の力で構築していく。

計画・振り返りシート

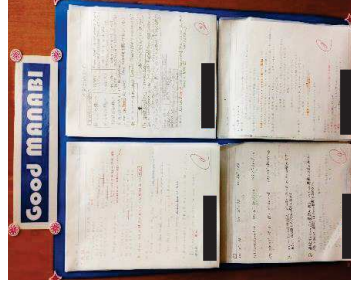
宿題による学習習慣の定着

- 国語・数学・英語の宿題を毎日出す。
- 提出物の点検を毎日行い、生徒の日々の頑張りを認め、意欲を高める。



学習に向かうための支援

- 取組みの好事例を紹介
- 生徒会主体のクラスマッチで意欲向上



← 友達 の 学 び 方 を 学 ぶ



← 集団で学ぶ雰囲気
を高めていく

- 家庭学習の時間確保と定着のため、学校の取り組みの理解と協力を家庭に求める。

学年・学校間の接続を意識し、「家庭学習の基本は『宿題+自主学習』である」と共通認識をもつこと！

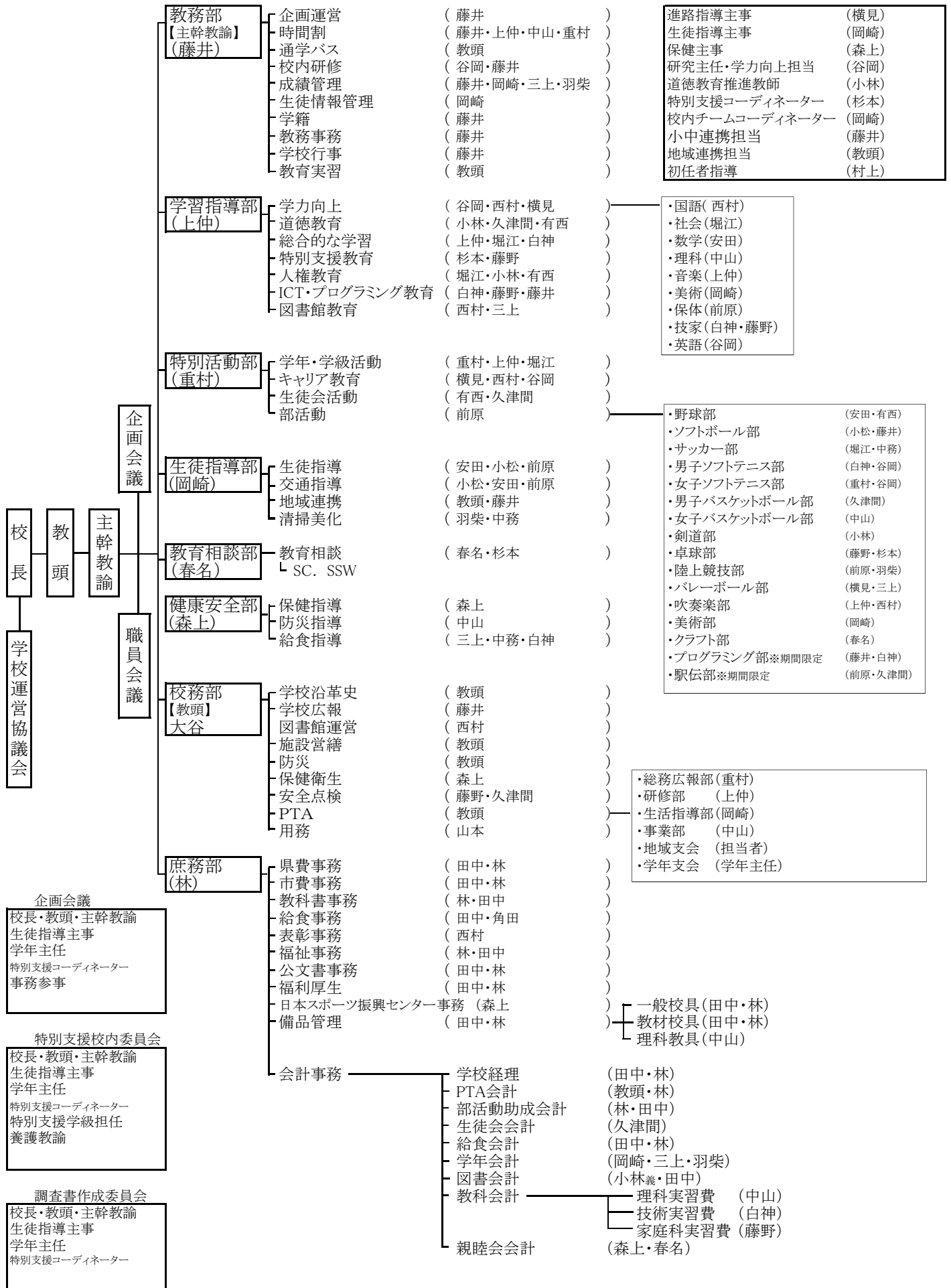
ポイント

ポイント

眠っている頭を勉強
モードに切り替え！
落ちついた気持ちで学びに向かおう。

読書活動の充実→落ち着いた学習環境づくり・豊かな情操の獲得
登校後、20分間の朝読書を実施。教員も同じく読書活動に取り組む。





平成31年度 年間行事予定

平成31年4月9日現在

新見市立新見第一中学校

4月			給食	5月		給食	6月		給食	7月		給食	8月		給食	9月		給食	10月		給食	11月		給食	12月		給食	1月		給食	2月		給食	3月		給食
1	月		水	新天皇即位日		土			月			木			日			火			金	3年実力テスト		日		水	元旦		土		日			1		
2	火		木	国民の休日		日			火			金			月			水			土	秋季県総体		月	期末考査		木		日		月			2		
3	水		金	憲法記念日		月			水	専門委員会		土			火			木			日	文化の日 秋季県総体		火	期末考査		金		月		火			3		
4	木		土	みどりの日		火			木	健康の森交流会		日			水	専門委員会		金	備北秋季総体		月	振替休日		水	専門委員会		土		火	入学説明会		水	学びタイム		4	
5	金		日	こどもの日	学びタイム		水		金			月			木			土	備北秋季総体		火			木	3年実力テスト		日		水	学びタイム		木			5	
6	土		月	振替休日		木			土			火			金			日	備北秋季総体		水	専門委員会		金			月		木			金			6	
7	日		火			金			日			水			土			月			木	小中音楽会		土			火		金	1・2年参観日		土			7	
8	月	1学期始業式	水			土			月	保護者懇談		木			日	運動会		火			金			日		水	3学期始業式		土		日				8	
9	火	入学式	木			日			火	保護者懇談		金			月	振替休業日		水	専門委員会		土	参観日 PTA講演会		月	保護者懇談		木	3年実力テスト		日		月			9	
10	水	学びタイム	金	1年校外学習（市民体育館）		月			水	保護者懇談		土			火			木			日			火	保護者懇談		金		月		火	公立一般入試			10	
11	木		土			火			木	保護者懇談		日	山の日		水	学びタイム		金			月	振替休業日		水	保護者懇談		土		火	建国記念の日		水	公立一般入試		11	
12	金	退任式 PTA歓送迎会	日	修学旅行（沖縄）		水	2・3年実力テスト 専門委員会		金	保護者懇談		月	振替休日		木			土			火			木	保護者懇談		日		水	公立特別入試 1・2年実力テスト		木			12	
13	土		月	修学旅行		木			土			火			金			日			水	1・2年実力テスト 学びタイム		金	保護者懇談		月	成人の日		木	公立特別入試		金	卒業式		13
14	日		火	修学旅行		金	参観日		日			水			土			月	体育の日		木			土	薄北地区ダンス発表会		火		金		土			14		
15	月	家庭訪問 旧神郷中学区・千屋小学区 スマホ安全教室	水	3年振替休業日 学びタイム 弁当の日		土			月	海の日		木			日			火			金	県駅伝大会		日		水	専門委員会		土		日				15	
16	火	家庭訪問 上市・西方小学区	木			日			火			金			月	敬老の日		水	職場体験学習 学びタイム		土			月			木		日		月				16	
17	水	家庭訪問 高尾小学区・高尾（思誠小学区）	金			月			水			土			火			木	職場体験学習		日			火			金		月		火				17	
18	木	全国・県実力テスト 専門委員会	土			火			木			日			水			金	職場体験学習		月			水	学びタイム		土		火		水	学びタイム			18	
19	金	家庭訪問 塩城小学区・下熊谷	日			水	期末考査		金	1学期終業式		月			木			土			火			木			日		水	学びタイム		木			19	
20	土		月			木	期末考査		土	県総体（～29日）		火			金			日			水	学びタイム		金	2学期終業式		月		木		金	春分の日			20	
21	日		火	中間考査		金	期末考査		日			水			土	文化祭		月			木			土			火		金		土				21	
22	月	家庭訪問 西方（思誠小学区）・金谷	水	中間考査		土			月			木			日			火	休日（2019のみ）		金	新見市駅伝競走大会		日		水	学びタイム		土		日					22
23	火	家庭訪問 新町・三日市・木谷・竜頭・栄町・本町・他	木			日			火			金	3年授業日		月	秋分の日		水	中間考査		土	勤労感謝の日		月	3年授業日		木		日	天皇誕生日		月				23
24	水		金	生徒総会（午前） 部活参観日（午後）		月			水			土			火	振替休業日		木	中間考査 ハッピーハートフルコンサート		日			火	3年授業日		金	3年学年末考査		月	振替休日		火			24
25	木		土			火			木			日			水	3年実力テスト		金			月			水	3年授業日		土		火		水				25	
26	金	PTA総会	日			水	学びタイム		金			月	2学期始業式		木			土			火			木			日		水	1・2年学年末考査		木	修了式			26
27	土		月			木			土			火			金			日			水			金			月		木	1・2年学年末考査		金				27
28	日		火			金	備北夏季総体		日	PTA奉仕作業・レク大会		水			土			月			木			土			火		金	1・2年学年末考査		土				28
29	月	昭和の日	水	学びタイム		土	備北夏季総体		月			木			日			火			金	期末考査		日		水			土		日					29
30	火	国民の休日	木			日	備北夏季総体		火			金			月			水	学びタイム		土			月		木	私立一次入試				月					30
31			金	2年校外学習（広島）					水			土						木						火		金	私立一次入試				火					31